

長泉麗峰山の会・山行報告書	文・伊藤 写真・後藤
山行番. NO. 2046	
日 時 2023年11月25日(土)曇	
山 域 天城・猿山(1000m)	
コース 長泉町6:00-河津七滝温泉-萩ノ入川ゲート発7:45-黄金橋-東尾根取り付き8:05- 標高点・788m-杉道9:36-大ブナ10:23-猿山10:31-昼食10:40~11:30-ゲート13:30	
標高差 上・下り 萩ノ入川ゲート約380m~猿山1000m=約620m+α	
難易度 非常に困難 困難 やや困難 レ普通 やや易しい 易しい	
地図読みと冬枯れとイワシ	
参加者 後藤、加藤、伊藤、松永、太田黒=5名	

朝6:00、車は天城に向かって出発し伊豆中央道の料金所着。6:00前だと、無料ということを知りました。残念6:15でした。

河津七滝ループ橋下を左折し無料駐車場でトイレを済ませる。萩ノ入川ゲートに向かう途中、河津七滝キャンプがあった。参加Oさんが最近利用したという。自由に入れる温泉付きで、お得だそうです。(さっそく、Kさん29日利用しました)



萩ノ入川ゲート



新調スタッドレス

テント泊と思われる人が少し居ました。それを横目に更に奥に。狭く厳しい林道をゲート着で脇に駐車です。

登山の支度をしていると、ワサビ農家が軽トラックで来て、鍵を開け「紅葉がイイよ」と声を掛け、奥に入って行きました。

今回の猿山登山は、登山道がない「バリエーション・コース」です。地図読み訓練をしながら上ります。ゲートの脇を抜けて、オジサンと同じ林道を進む。萩ノ入川の橋があった。見ると「黄金橋」でした。橋を渡り左折です。

CLが立ち止まり、「この辺り、注意して」の声で、右を見上げると、丸太を並べた坂があり、「ここだ」と、昨年来たことを思い出しました。



地図を読む、方向を探る、地形を想像する

いわれて見上げれば、標識はなく、普通の山という感じです。少し上ると、歩く道は無く、バリバリのバリエーションです。

何となく人が歩いたか、ケモノ道と思われる所を探しながら、ジグザグとガンバルだけです。やっと斜めになった尾根に出ました。右に上って行くのですが、今日の一番のポイントで、下山時、間違いやすいので、目印を付けました。

切株があったので、上に棒っ切れや真っ赤なモミジを置きました。果たして見つけれられるか??その時は、「分かる」と思いました。





大ブナ

更に似たような山の中で、出来るだけ尾根上を歩く、左右の地形に注意、地図を確認することが大事と教えて貰った。

時々、紅葉したキレイなモミジを見つけたり、見覚えのある岩や、上り下りした場所を確認したりで山頂に着いた。広いなだらかな森の中に、猿山 1000mの標識があった。南に少し下って、陽当たりの良さそうな所で昼食。Kさんがクッキングを開始です。



猿山山頂



標識

丸々と太った大きな「イワシ」を焼いてくれた。重い鉄器を背負い上げてくれた思いと達成感と、塩味バッチリのイワシを美味しい、美味しいと連発しました。私たちは、身だけ食べましたが、Gさんは、大きな頭ごと食べました。立派です。



昼食



イワシ

この日は、他の登山者はおらず、時々陽が射す曇りで静かな山頂でした。11:30 下山開始。先頭を任せ下山開始でしたが、上って来た道に戻らず、反対方向に歩き出し、いきなり「方向オンチ」を発揮でした。

CLに「こっちだよ」と教えられ、慌てました。下山は、左へ左への感じで下れば

良いと思っていました。

上って来た時の目印を発見できるか不安でした。キョロキョロしながら下り、赤いテープを探しましたが、この山は、テープが皆無でした。



山頂下

不安と焦りで足だけが前に出てしまい、やっぱり肝心の目印を見過ごしてしまった。誤りルートを下って、CLに、「こっちで、いいの??」といわれ、「あっそうだ」と上り返し、目印の切株を確認して、正しい尾根を下れました。

ちなみに、このポイントは、昨年、やはり地図読み訓練だった、YKさんも間違った難しいポイントでした。それ以降は、林業の方たちが付けたと思われる、白ペンキに沿って林道に出て、「ホッと」しました。

山道のない山で道に迷う怖さを実感し、普段は当たり前と思っていた山道や、赤いテープや、仲間の存在の有難さや大切さを、つくづく思い知らされた山行でした。車に戻り、キャンプ場を横目に見たら、多くの人達で賑わっていました。

その他の記述（ごとう）

下山後、西丹沢で奮闘のアルパイン隊と反省会が楽しみだった。が、帰宅しYKさんから、携帯で「山北で追突された」で動転した。人身・物損はあったが、幸い大きな事故でなく良かったです。